



美しく心を寄せ合う時代に

5月1日、元号が平成から「令和」に替わりました。新元号の「令和」は、7世紀から8世紀にかけて様々な人々が詠んだ4500首以上を収録している、日本最古の和歌集である万葉集から引用されました。「令」には「よい、めでたい」、「和」には「互いに相手を大切にし、協力し合う関係にあること」という意味があります。このことから「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で、新しい文化、新しい時代を切り拓いていくという思いが込められています。

生徒の皆さんが生まれた平成の約30年間、日本では戦争のない平和な時代を過ごすことができました。新しく始まった「令和」の時代も、私たち一人一人がそれぞれ力を発揮してお互いを認め協力し合い、美しく心を寄せ合う時代に築き上げていきたいと思えます。

生徒の皆さんには、新しい元号が始まった今、「令和」に込められた思いを踏まえつつ、自分の将来の夢の実現のために何をすべきかを考えて具体的な目標を掲げ、その目標に向けて努力を続けてほしいと思えます。



歴史と文化を学び、絆を深めました

4月25日～27日の3日間、旅行先を京都・大阪方面とする3年生の修学旅行が行われました。学校を出発した時に降っていた雨も大阪に着いた時にはすっかり上がり、その後はにわか雨はあったものの天候に恵まれた旅行となりました。

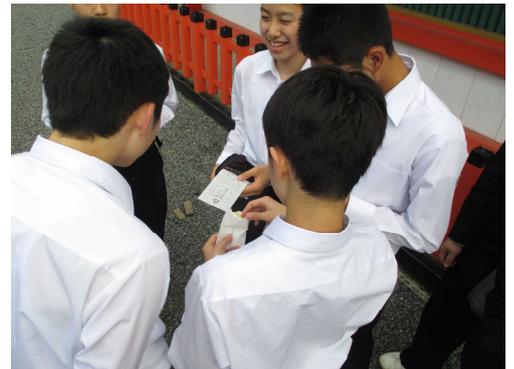
大阪までの往路は、福島空港から伊丹空港まで航空機を利用しました。初めて航空機に搭乗する生徒も多く緊張しながら搭乗手続きを受けていましたが、航空機が離陸するとすっかり緊張が解けていました。あいにくの天候で雲の上を飛行することが多く、窓からの眺めは今ひとつでしたが、雲の上に広がる空の青さはとてもきれいなものでした。

大阪に着いてからの1日目の行程は、大阪城を見学後に京都へ移動し平等院の鳳凰堂を拝観、その後伏見稻荷大社を見学して宿舍の仁和寺御室会館に入るといったものでした。平等院の鳳凰堂拝観では、国宝阿弥陀如来座像を間近に見ることができ、平安時代の文化を肌で感じることができました。また、宿舍の仁和寺御室会館は世界遺産である仁和寺の境内にあり、世界遺産で宿泊という貴重な体験をすることができました。

2日目は京都市内班別自主研修を行った後、夕方から夜にかけてユニバーサルスタジオジャパン (USJ) で過ごし、USJ近くのホテルに宿泊しました。

3日目は、ホテル近くのユニバーサルシティポートからシャトル船キャプテンラインで海遊館へ移動して海遊館を見学後、新大阪駅から新幹線で帰路につきました。

日本の歴史と文化を伝える神社仏閣や名所を訪ね、仲間と行動を共にした3日間の中では、計画通りに進められなかったり、途中で予定を変更せざるを得なかったりと思いがけないトラブルが起きましたが、3年生の皆さんは適切に対応して事故やけが無く旅行を続けることができました。これまでの学習の成果を生かしたそれらの対応は、学校の中では経験できない貴重なものであり、また互いの絆を深めるものとなりました。



【大吉は出たかな？】



【キャプテンラインに乗船】